

成果指標				
成果指標	累積購入経費／基準経費×100			
指標設定の考え方	各学校において定められた基準経費への到達を目指す。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	100	100	100	0
実 績	47	49	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業は、中学校における理科及び数学の学力向上にむけた備品の整備事業であり、国庫補助事業である。本事業を有効に活用し、計画的な備品整備を実施するべきである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	国庫補助を活用した事業であり、中学校の理科及び数学の備品を整備することができた。今後も制度を活用しながら整備を進めたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題